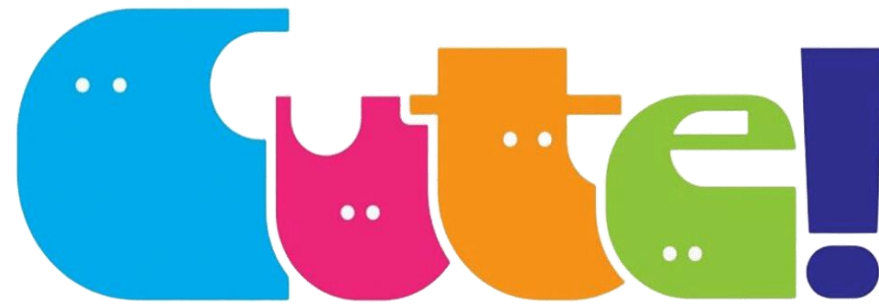


若者会議企画提案

若者会議とは？
CUTEって？



Cute city, KIZUGAWA

木津川市の現状

木津川市の総人口は増加傾向

2022年には市発足後初の8万人を記録

2015年:72652人 2025年:77975人

地域別に見ると...

旧木津町(木津、城山台、梅美台など)は人口が増加している一方旧加茂町、山城町(加茂、南加茂、上狛、棚倉など)は、1～2万人の減少が見られる。

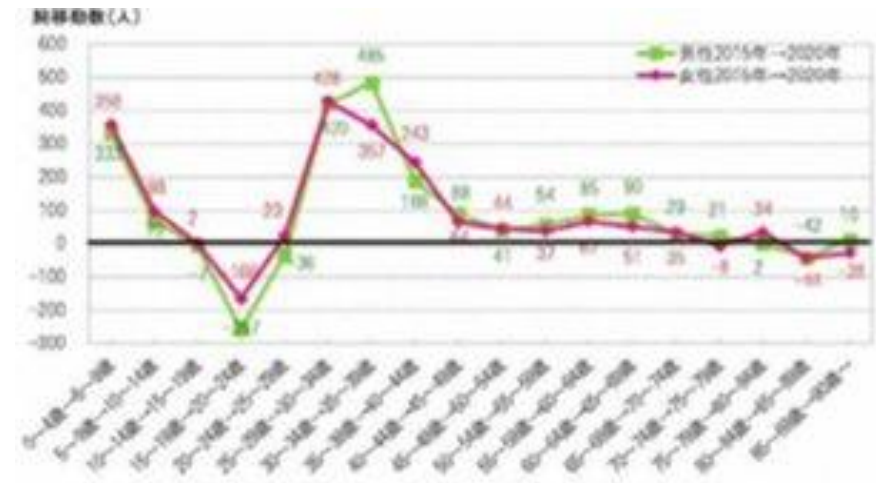
→地域間格差が顕著

木津川市は奈良や京都、大阪へのアクセスが良く、以前からベッドタウンとしての需要が高い。子供の医療費補助など、子育て支援に力を入れており、近年は特に木津町の人気が高い。しかし、進学・就職を機に転出する若者が多い。

→住民同士の関係性が希薄に



【出典】厚生労働省「人口動態保健所・市町村別統計」
※H10～H14以前は旧町ごと。H15～H19以降は木津川市の数値のみ公表となっている



【資料】総務省「国勢調査」における7歳以上の人口データから推計

企画の背景: 木津川市の「今」

課題1: 関係性の希薄化

若者世代の人口減少への懸念。進学・就職による市外流出で卒業後に地域との関係が薄れがちです。

「久しぶりに地域の友達に会える」場が必要です。

課題2: 認知度の不足

木津川市若者会議など、若者主体のポジティブな活動が、市民にまだ広く知られていません。活動の「見える化」が求められています。

→ 私たち若者が、地域の「愛着」と「交流」のキッカケを作ります！

木津川CUTEウォーターバトル

～竹水鉄砲で繋がる、世代間交流フェス～

木津川市若者会議

企画概要

イベント名: 木津川CUTEウォーターバトル

開催時期(案): 2026年 6月末～7月末の土日

開催場所(候補): 市内小中学校の「校庭」及び「体育館」

対象: 木津川市民(目標300人!)



コンセプト: 「作る」×「戦う」×「繋がる」

当日の流れ

【午後の部】 13:00~ 「戦う」

世代別対抗の水鉄砲大会。チームでの作戦
会議と白熱のバトルで盛り上がる！

【午前の部】 10:00~ 「作る」

木津川市の特産「竹」を使ったオリジナル水
鉄砲作り。世代間交流の場にも。

【同時開催】 「繋がる」

体育館での模擬店、キッチンカー、Cuteフォ
トコンテスト。待ち時間も楽しめる仕掛け。

企画の目的: このイベントで目指すこと



シビックプライドの醸成

「木津川市＝楽しい地元」という原体験を通じ、市への愛着と「また戻ってきたい」と思える心を育みます。



CUTEの認知度向上

若者会議の活動を広く発信し、活動の魅力を伝えます。これが新メンバー募集や今後の活動の基盤となります。



世代・地域の交流促進

体を動かす共通体験で、子どもから大人まで、世代や地区を超えた新しい「顔の見える関係」を生み出します。

なぜ「竹」の「水鉄砲大会」なのか？

1. 木津川市ならではの体験

特産の「竹」で水鉄砲を「自ら作る」体験は、他にはない強力な魅力。地域の資源(CUTE)を遊びながら再発見できます。

2. 圧倒的な交流しやすさ


世代・性別・地域を超えた、スポーツならではの一体感。バトル外(ワークショップ)での交流も。

3. みんなを若者に

会場を小・中学校にし、水鉄砲大会を通じて誰もが「若者」になって本気で楽しめます。



運営について

 **運営体制:** 主催は木津川市若者会議。運営スタッフは若者会議メンバーに加え、地域イベント等で広くボランティア(20～30名)を募集します。

募集方法: 中学校、高校への呼びかけ(生徒会など)、SNS、チラシ配布、貼り付け

配置: 審判(各コート)、招集、カメラ(広報)、現場監督、見回り、受付、警備員

予算

支出（必要なもの）

材料費（竹、水鉄砲キット、ワークショップ資材）

備品費（CUTEユニフォーム、審判用具）

景品費（大会景品、フォトコンテスト景品）

運営費（保険料、広報費、雑費）

木津川市へのお願い



市の協力を得て、企画を実現したい

- ✓ 会場提供
市内小中学校の「校庭」と「体育館」の無償提供をご相談したいです。
- ✓ 広報協力
「広報きづがわ」、市HP・SNS(Instagramなど)での告知協力で、参加者・スタッフを集めたいです。

このイベントを、若者が主体となり、
市の課題解決に貢献する第一歩にします。

「木津川CUTEウォーターバトル」を、 世代間交流の架け橋に。

ご清聴ありがとうございました。